

直島における周辺環境モニタリング（土壌調査）結果について

直島における周辺環境モニタリング（土壌調査）は、中間処理施設の建設前、運転期間に実施し、周辺環境への影響を把握することを目的としている。今回、中間処理施設の運転開始後である平成 25 年 8 月に実施した土壌調査結果の調査結果をとりまとめた。

1. 調査の経緯

	調査区分	調査期間	工事との関連
報告済	中間処理施設の建設前 （事前環境モニタリング）	平成 12 年 8 月 31 日（木）	中間処理施設の建設開始前に、バックグラウンドを確認するため実施した。
		平成 12 年 11 月 28 日（火）	
	運転期間	平成 16 年 2 月 24 日（火）	中間処理施設の運転開始後に実施した。
		平成 17 年 2 月 1 日（火）	中間処理施設の運転開始後に実施した。
		平成 19 年 8 月 9 日（木）	中間処理施設の運転開始後に実施した。
平成 22 年 8 月 4 日（水）		中間処理施設の運転開始後に実施した。	
報告済		平成 25 年 8 月 1 日（木）	中間処理施設の運転開始後に実施した。

2. 調査の概要

- (1) 調査地点（調査地点図参照）
最大着地点（風戸山山頂）、直島町役場
- (2) 検体採取機関及び分析機関
県直島環境センター、県環境保健研究センター

3. 調査結果の概要（表 1）

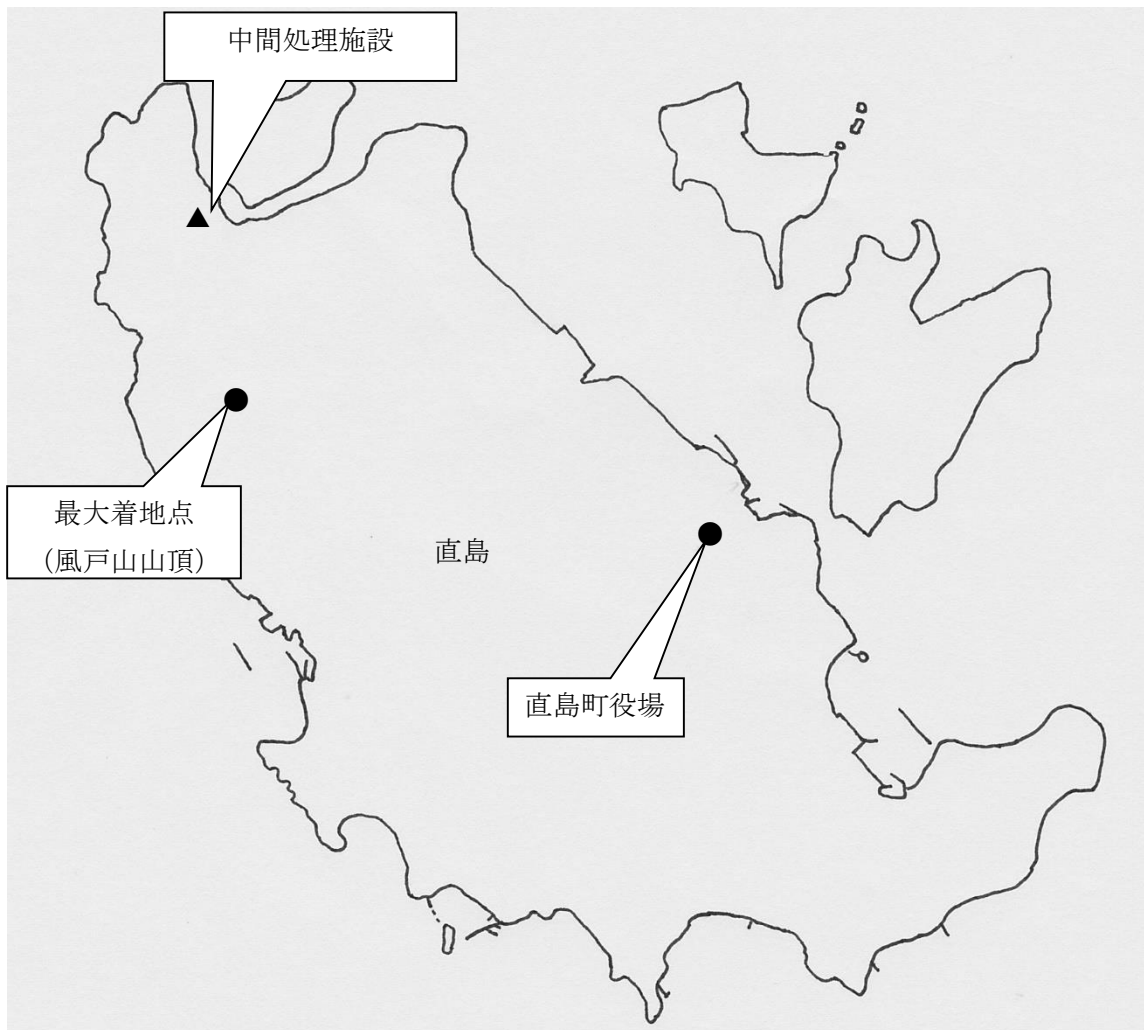
事前環境モニタリングの調査結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

- ・カドミウム、鉛、水銀及びヒ素は土壌環境基準を満足していた。

表1 土壌調査結果

(ダイオキシン類単位:pg-TEQ/g、その他の単位:mg/l)

調査項目	最大着地点							直島町役場							環境基準
	事前環境モニタリング		運転期間					事前モニタリング		運転期間					
	H12.8.31	H12.11.28	H16.2.24	H17.2.1	H19.8.9	H22.8.4	H25.8.1	H12.8.31	H12.11.28	H16.2.24	H17.2.1	H19.8.9	H22.8.4	H25.8.1	
カドミウム及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01mg/l以下
鉛及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01mg/l以下
水銀及びその化合物	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005mg/l以下
ひ素及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01mg/l以下
ニッケル及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
クロム及びその化合物	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	
ダイオキシン類	4.3	2.7	4.5	2.7	6.6	0.15	0.40	4.1	4.9	6.3	3.1	7.5	0.91	2.0	1000pg-TEQ/g



調査地点図 (●：調査地点)